

令和7年度 第1回
生物資源産業学部教育プログラム評価委員会 議事要旨

1. 日 時 令和7年10月29日(水) 17:30～18:05
(「生物資源産業学部学生と学部長・専攻長との懇談会」(以下「懇談会」という) 終了後に開催)
2. 場 所 地域創生・国際交流会館5階 フューチャーセンター
3. 出席者 委 員 服部学部長(委員長)、山本教授(副委員長)、田中教授、懇談会出席の学部学生(別紙のとおり)
オブザーバー 浅田教授、田井教授、中澤教授、懇談会出席の大学院学生(別紙のとおり)
4. 欠席者 なし
5. 陪席者 宮本事務課長、森川学務係長、三好主任、柳主任

6. 議 題

(1) 副委員長の選出について

委員長から、副委員長の選出について提案があり、提案どおり、山本委員(教務委員会委員長)が選出された。

(2) 委員(学生)の選出について

委員長から、委員の選出について提案があり、提案どおり、懇談会に出席の学部学生が選出された。

また、懇談会から引き続き出席の各コース長(浅田教授、田井教授、中澤教授)については、本委員会オブザーバーとして参加することとした。

(3) 生物資源産業学部のカリキュラムに関する事前アンケートについて

委員長から、別紙議題3資料により説明を行い、学生にさらなるカリキュラム等の改善点にかかる意見を求め、以下のやり取りがあった。

- ・大学院の授業の早期履修を導入してほしいという意見があり、山本副委員長より、制度的なところや、他大学の入学生への不公平感が生じる懸念があり、現時点では学部として早期履修は考えていないとの回答があった。
- ・物理化学関連の授業を必修とした方がいいという意見があり、山本副委員長より、現状の教員配置の関係で、専門科目として位置付けることが難しいため、より学びたい場合は、物理化学担当の教員へ学習意欲を伝えてほしいとの回答があった。
- ・成績評価について、成績登録後に教員へ疑義を行った場合に大幅に点数があがったり、出席が少ないにも拘わらず高得点となったりする場合があります、成績はコース配属や就職にも影響するので、採点結果を全員に返却ほしいとの意見があった。山本副委員長より、成績が後で変更になることについては、問題だと考えている。また、試験結果の開示については、異議申立の制度があるので、活用してほしいとの回答があった。
- ・委員長からディプロマポリシーやカリキュラムポリシーについて説明し、意見等がないか確認を行ったが、特に意見等はなかった。

(4) その他

なし

8. 報 告

(1) その他

田中委員より、大学で学生意見箱を設置しているので、意見がある場合は投書してほしいとの発言があり、教務システムにて周知することになった。

以上